

# Hepatitis E virus Primer/Probe Mix

Code No. RC523A

容量： 50 回  
(25  $\mu$ l 反応系)

## ● 内容

● HEV Primer/Probe Mix 10 $\times$  125  $\mu$ l

## ● 検出対象遺伝子とプローブ標識

検出対象遺伝子	プローブ標識
E型肝炎ウイルス ORF2 遺伝子	FAM/Dark Quencher

● 形状 TE バッファー

● 保存  $-20^{\circ}\text{C}$

## ● 使用例

One Step PrimeScript™ III RT-qPCR Mix, with UNG (製品コード RR601A/B) と組み合わせて使用する場合の例を以下に示す。詳細はリアルタイム PCR 試薬の取扱説明書を参照のこと。

### 1. 反応液調製

One Step PrimeScript III RT-qPCR Mix, with UNG (2 $\times$ )	12.5 $\mu$ l
HEV Primer/Probe Mix (10 $\times$ )	2.5 $\mu$ l
ROX Reference Dye II*1	0.5 $\mu$ l
滅菌精製水	7.5 $\mu$ l
RNA サンプル*2	2.0 $\mu$ l
Total	25 $\mu$ l

\* 1 : ROX で蛍光強度の補正を行うリアルタイム PCR 装置を使用する場合に添加する。不要な場合は、代わりに滅菌精製水を 0.5  $\mu$ l 添加する。

\* 2 : 精製 RNA を使用する。

### 2. PCR 条件

<逆転写反応>

(25 $^{\circ}\text{C}$  10分)\*3

52 $^{\circ}\text{C}$  5分

95 $^{\circ}\text{C}$  10秒

< 2 step PCR : 45 サイクル >

95 $^{\circ}\text{C}$  5秒

54 $^{\circ}\text{C}$  30秒 (FAM(/ROX)\*4) 検出

\* 3 : PCR 産物によるコンタミネーションが疑われる場合には、UNG 処理のため、25 $^{\circ}\text{C}$  10分のステップを実施する。

\* 4 : ROX Reference Dye II を使用した場合に設定する。

## ● 使用に際して

Primer/Probe の配列内に遺伝子の変異や欠損/挿入が生じた際には、検出できない場合があります。(反応結果により発生する問題に関して、タカラバイオ株式会社は一切の責任を負いません。)

## ● 参考文献

国立感染症研究所「病原体検出マニュアル E 型肝炎ウイルス検出マニュアル (第 2 版) 平成 30 年 12 月」

## ● 関連製品

Hepatitis E virus Positive Control RNA (製品コード RC623A)

PrimeScript はタカラバイオ株式会社の商標です。

## ● 注意

本製品は研究用として販売しております。ヒト、動物への医療、臨床診断用には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品等として使用しないでください。  
タカラバイオの承認を得ずに製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。  
ライセンスに関する情報は弊社ウェブカタログをご覧ください。  
本データシートに記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。

v202304Da

タカラバイオ株式会社

ウェブサイト <https://www.takara-bio.co.jp>

製品についての技術的なお問い合わせ先

テクニカルサポートライン

Tel 077-565-6999

Fax 077-565-6995